

あの答弁は どうなった!

01 子ども・子育て支援事業

議会だより第182号(令和元年8月1日)掲載

Q 地域の中で安心して活動や学習、遊びができる子どもの居場所づくり。

A 今後は、児童館の有効な活用等の検討が必要と考える。

現在は

新たな取り組みとして、令和3年度より「移動児童館」事業を開始し、小学校の体育館へ出張して、健全な遊びの普及に努めている。

02 障がい者グループホーム建設

議会だより第182号(令和元年8月1日)掲載

Q 令和2年度末までに地域生活支援拠点の整備をすることになっているがその進捗状況。

A 継続的に協議を行い、必要な機能の整備に取り組んでいきたい。

現在は

令和2年度に地域生活支援拠点の面的整備を行った。緊急時の受け入れ体制整備、体験の機会や場の確保、専門的人材の確保と養成など重点事業を進めている。

03 第5次総合計画の仕上げ

議会だより第183号(令和元年11月1日)掲載

Q 介護予防事業参加者と宅老所。

A 介護予防事業の参加者は伸びている。しかし、宅老所の利用者数は、運営するボランティアの問題などからほぼ横ばい。そのために宅老所の運営改善を図り、生活支援サービスの導入などの検討を始めている。

現在は

コロナ禍で減少した、介護予防事業及び宅老所の利用を、以前の状況に戻すよう努力している。生活支援サービスとして、令和3年度から「暮らし応援サービス・ささエール」及び「エプロンサービス」を開始した。

04 矢高横川線信号機問題

議会だより第186号(令和2年7月15日)掲載

Q その後の信号機設置に向けての町の取り組み。

A 新型コロナウイルス感染症に終息が見られ、交通量が平常に戻ってから再度交通量調査を行い、今後も粘り強く信号機設置の要望活動を行っていく。

現在は

令和4年6月22日に交通量調査を実施し、7月7日に半田警察署長宛に要望書を提出している。

05 生ごみ処理に「キエーロ」試行

議会だより第187号(令和2年11月1日)掲載

Q 紙おむつやボランティアごみ等の処理。

A 他市町の状況を参考に検討。

現在は

紙おむつについては、町指定可燃ごみ袋でなくても、透明・半透明の袋に「紙おむつ」とマジックなどで記入し、ごみステーションに排出していただければ、回収処理している。企業などの道路の清掃活動によるボランティアごみについては、事前に相談していただき、調整が整えば対応処理している。